

背景（課題・ニーズ）

■ 成友興業では毎日稼働する大型トラック約60台で、軽微な接触事故等が多発。事故原因を分析した結果、多くの不安全運転が確認されたため、NautoJAPANのAIドライブレコーダーを導入し安全意識と運転行動の改善を図った。

<主な事故原因>

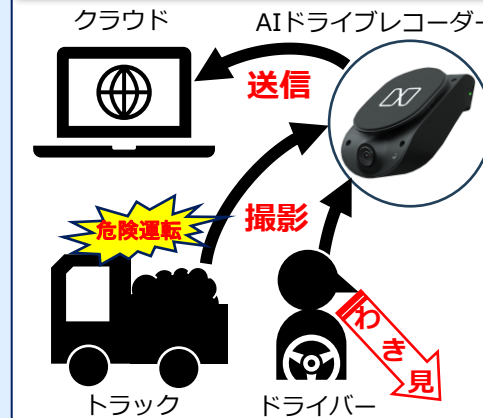
- ① 周囲確認不足 : 57%
- ② わき見・よそ見運転 : 17%
- ③ 不適切な車間距離 : 17%
- ④ 居眠り運転 : 3%

プロジェクト内容：AIによる事故予防

①危険運転への警報で注意喚起



②危険運転動画を自動送信



③安全運転をスコア化し表彰

氏名	スコア	わき見	車間距離	眠気
A	90	1	0	0
B	79	2	0.2	0.1
C	58	0	2	1

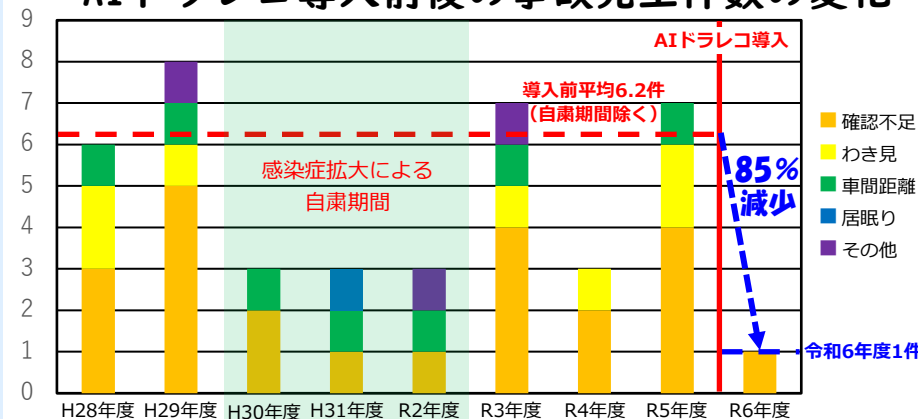


年間優秀者を表彰

やってみての効果

- AIドラレコ導入により、年間平均6.2件発生していた事故が令和6年度は1件に減少(85%減)した。
- AIドラレコによる危険運転察知と警報での注意喚起により、わき見等の危険運転時間が短縮できた。
- 各ドライバーが安全運転スコアを意識することにより、安全運転に対する意識・行動が全体的に向上した。

AIドラレコ導入前後の事故発生件数の変化



今後の目標・展望

- 両社連携のもとAIドライブレコーダーの精度を更に向上させ、より安全な運転ができる環境を維持できるように取り組んでいく。
- 撮影された映像を基に危険運転行為に対する改善教育を実施し、ドライバーの安全運転に対する意識をさらに向上させる。
- 無事故・無違反の安全運転企業として社会へ資する。